

平成22年度

# 人権会議総会

6月11日・プラザ西伯にて、人権会議

総会が開催されました。

## ■人権文化の町

冒頭に坂本会長(町長)は「社会に現存する部落差別をはじめとするあらゆる差別を解消し、人権意識が地域社会、住民間に浸透するための人権保障に係る施策や人権教育・啓発活動に取り組み、人権を尊重する住民相互のつながりを大切にし、人権文化の町を築きましょう。」とあいさつされました。

## ■みんなで決議

今年の総会では「人権が大黒柱の町づくり推進決議」を行いました。

決議は、本町がめざす「人権文化が定着した町」とは一人ひとりの住民が大切にされ、差別や人権侵害の現実を自らの問題としてとらえ、解決していく強い意識と意欲を全町民が持つことであるとし、不幸にして、様々な人権侵害や差別事象が発生した場合には、その現実深く学びながら原因や背景を追求したうえで対応することが重要だ、という事を改めて確認しました。

南部町人権会議は人権尊重のまちづくりの実現に向けその中核的な役割を果たします。

平成22年度

## 第1回 人権セミナー

テーマ

「人権とは何か

～人権・同和教育がめざしてきたもの～

講師：足羽 隆

(元鳥取県人権教育アドバイザー)

日時：7月22日(木) 午後7時30分～

場所：プラザ西伯

人権セミナーは年間5回開催予定です。  
今年度はスタンプラリーを行います。  
みなさん奮ってご参加下さい。

「自分をカエル」

「見方をカエル」をキャッチフレーズに南部町人権啓発キャラクタ―

「ミカエル」があちらこちらに出現

します。あなたも「ミカエル」にな

りませんか。

りませんか。



見かたをカエル

自分をカエル

「ミカエル」になろうよ

■部落解放月間

(7月10日～8月9日)

昭和44年の同和对策特別措置法施行を記念して、昭和45年に鳥取県で部落解放月間が制定されました。同和問題の解決は国民的課題であり、「寝た子を起すな」という考え方では問題解決されない、と指摘した「同和对策審議会答申」(昭和40年)により、あらゆる施策や同和教育が行なわれてきました。現在も「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす」条例や「人権教育・啓発推進法」で問題解決に取り組んでいます。